

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	これから寒くなり、外出の機会が減ってくると思われる。体力や筋力の低下も心配されるが、外出を楽しみにしている方も多く、ホーム内だけで生活が完結してしまわないように、ストレスや気分転換の面からも活動内容を考えていきたい	1 春までに現在の体力や筋力が維持できている	まずは、各利用者様の現在の筋力等、どの程度のレベルなのかを、簡単な体力測定を行い把握する。手の力が弱い方には、ハンドグリップや粘土で作品を作る等を勧め、下肢筋力が弱い方には、階段昇降や軽いスクワット等を勧めるなどして、各利用者様に合ったりハビリメニューを作り無理のない頻度を決めて実施する。	6か月
2			2 寒い時期ならではの季節の変化を楽しみ、気分転換できる	歩行や車椅子での散歩は厳しくなるため、車を利用したドライブの頻度を増やす。マンツーマンで出かける時と、数名で出かけるバランスを考え、季節の変化を車窓から楽しんでもらう。時々そよ風(地域交流スペース)にお弁当を持って数名で出かけ、社会の一員として地域との関わりを大切にする。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。